



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,567	△14.0	△1,840	—	△3,717	—	△3,225	—
2020年3月期第3四半期	50,668	△6.2	166	△80.4	85	△93.5	△247	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,917百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △973百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△315.76	—
2020年3月期第3四半期	△23.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	101,482	50,117	49.1
2020年3月期	108,175	53,499	49.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 49,851百万円 2020年3月期 53,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	20.00	—		
2021年3月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	△13.9	△3,000	—	△6,100	—	△5,600	—	△548.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,145,249株	2020年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	931,662株	2020年3月期	931,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,213,880株	2020年3月期3Q	10,493,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化し、厳しい状況で推移しました。経済活動の再開に伴い景気の持ち直しの動きが見られましたが、国内外における感染症の動向による下振れ懸念等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは長期ビジョンとしての“ありたい姿”を「環境に配慮しながら安心・安全を提供し、次世代に誇りを持って引き継ぐために成長し続ける企業グループ」と定義いたしました。そして当連結会計年度より「Change and Challenge with You」というスローガンを掲げた3ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画では「環境変化に適応した運営体制の構築」「投資効率の追求と収益体質の確立」「事業の拡大と成長戦略の推進」「社会のニーズに応える製品・サービスの展開」「従業員の能力が最大限発揮される職場環境の構築と次世代の育成」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。また、前年同期の数値についても当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に変更して表示しております。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内においては新型コロナウイルス感染症による活動自粛が販売に大きな影響を及ぼしました。経済対策として実施されたG o T oトラベル・G o T oイートの影響で需要回復の兆しがやや見えたものの、感染拡大の第3波が起き、特に飲食店向けのアルコール飲料や栄養ドリンク等の販売は戻りませんでした。その結果、ガラスびん業界の出荷量は第1四半期連結会計期間に前年同期比81.3%と大きく減少し、当第3四半期連結累計期間では前年同期比89.9%となりました。このような中、当社の出荷量も減少し、さらに海外子会社においては、米国での中国ガラスびんメーカーに対する関税措置に関する調査の影響で輸出販売が減少した結果、セグメント売上高は28,407百万円（前年同期比18.8%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、△2,706百万円の損失（前年同期は△288百万円の損失）となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、新型コロナウイルス感染症の影響等により飲料用キャップやディーブグリップボトル（把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル）の出荷が減少し、セグメント売上高は4,401百万円（前年同期比13.1%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、132百万円（前年同期比52.6%減）と減益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は7,879百万円（前年同期比2.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や配送の効率化、外注費等の費用削減等により、361百万円（前年同期比333.2%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、5G需要により当社の電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移しました。さらに国内子会社では半導体レーザー用部品や高速通信用部品の出荷が堅調に推移し、海外子会社では高速通信用部品の出荷が堅調に推移したため、セグメント売上高は2,879百万円（前年同期比15.5%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収により前年同期より改善したものの、海外子会社の損失等を補えず、△34百万円の損失（前年同期は△291百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は43,567百万円（前年同期比14.0%減）と減収となり、連結営業利益は△1,840百万円の損失（前年同期は166百万円の利益）となりました。海外関連会社において新型コロナウイルス感染症の影響による販売量の減少や工場火災の影響があり、また、新たに設立した関連会社において立ち上げ期の損失が発生したため、持分法による投資損失は1,516百万円（前年同期は持分法による投資利益399百万円）となり、連結経常利益は△3,717百万円の損失（前年同期は85百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△3,225百万円の損失（前年同期は△247百万円の損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期における通期の業績予想につきましては、2020年8月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,308	10,446
受取手形及び売掛金	19,682	18,375
商品及び製品	7,379	6,001
仕掛品	285	242
原材料及び貯蔵品	2,797	2,721
その他	940	1,176
貸倒引当金	△48	△47
流動資産合計	44,346	38,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,601	7,351
機械装置及び運搬具(純額)	13,651	13,314
工具、器具及び備品(純額)	997	1,046
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	583	939
有形固定資産合計	33,167	32,983
無形固定資産		
その他	1,487	1,397
無形固定資産合計	1,487	1,397
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	3,161
関係会社株式	19,525	18,715
退職給付に係る資産	731	726
その他	6,277	5,604
貸倒引当金	△17	△21
投資その他の資産合計	29,174	28,186
固定資産合計	63,829	62,566
資産合計	108,175	101,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,427	6,338
短期借入金	14,851	16,569
1年内償還予定の社債	1,500	1,000
未払法人税等	280	197
賞与引当金	490	238
その他	5,681	5,037
流動負債合計	30,232	29,382
固定負債		
長期借入金	19,223	17,182
リース債務	925	755
環境対策引当金	9	9
退職給付に係る負債	3,173	3,181
繰延税金負債	346	243
その他	763	610
固定負債合計	24,442	21,982
負債合計	54,675	51,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,696	16,696
利益剰余金	26,818	23,133
自己株式	△1,564	△1,564
株主資本合計	56,026	52,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	1,047
繰延ヘッジ損益	△486	△61
為替換算調整勘定	△2,394	△2,844
退職給付に係る調整累計額	△684	△631
その他の包括利益累計額合計	△2,839	△2,490
非支配株主持分	312	266
純資産合計	53,499	50,117
負債純資産合計	108,175	101,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	50,668	43,567
売上原価	42,016	37,537
売上総利益	8,651	6,029
販売費及び一般管理費	8,485	7,869
営業利益又は営業損失(△)	166	△1,840
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	62	68
持分法による投資利益	399	—
その他	323	447
営業外収益合計	801	528
営業外費用		
支払利息	316	300
持分法による投資損失	—	1,516
為替差損	211	35
租税公課	86	82
その他	268	470
営業外費用合計	882	2,404
経常利益又は経常損失(△)	85	△3,717
特別利益		
固定資産売却益	1	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産売却損	—	4
固定資産廃棄損	5	71
投資有価証券売却損	1	—
関係会社株式売却損	110	—
支払補償金	46	—
特別損失合計	163	75
税金等調整前四半期純損失(△)	△76	△3,787
法人税、住民税及び事業税	360	249
法人税等調整額	△129	△769
法人税等合計	231	△519
四半期純損失(△)	△308	△3,267
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60	△42
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△247	△3,225

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△308	△3,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	321
繰延ヘッジ損益	110	425
為替換算調整勘定	△244	△358
退職給付に係る調整額	4	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△272	△56
その他の包括利益合計	△665	349
四半期包括利益	△973	△2,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△889	△2,876
非支配株主に係る四半期包括利益	△83	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、2022年3月期以降については2020年5月20日に公表した中期経営計画を使用しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が高いため、上記の仮定に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,997	5,065	8,112	2,493	50,668	—	50,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	392	6,487	5	6,884	△6,884	—
計	34,997	5,457	14,599	2,498	57,553	△6,884	50,668
セグメント利益 又は損失(△)	△288	280	83	△291	△217	383	166

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額383百万円には、セグメント間取引消去等89百万円、その他の調整293百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,407	4,401	7,879	2,879	43,567	—	43,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	481	6,213	3	6,700	△6,700	—
計	28,408	4,883	14,092	2,883	50,267	△6,700	43,567
セグメント利益 又は損失(△)	△2,706	132	361	△34	△2,246	406	△1,840

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額406百万円には、セグメント間取引消去等91百万円、その他の調整315百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。